種の浜

年　組　番

得点　／30

問一　次の傍線部の漢字の読みを現代仮名遣いを用いて平仮名で書きなさい。

①　侘しき法花寺　（　　）　②　夕暮れの寂しさ　（　　）

③　須磨にかちたる　（　　）　④　萩の塵　（　　）

問二　次の傍線部の語句の意味としてあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

①　細やかに　**ア**　こまごまと　**イ**　色濃く　**ウ**　小さく　（　　）

②　したためさせ　**ア**　書かせ　**イ**　片づけさせ　**ウ**　用意させ　（　　）

③　あまた舟に取り乗せて　**ア**　そのまま　**イ**　大勢　**ウ**　全員　（　　）

④　ときの間に　**ア**　わずかな時間で　**イ**　夜の間に　**ウ**　一時間で　（　　）

⑤　須磨にかちたる　**ア**　似ている　**イ**　近づいている　**ウ**　まさる　（　　）

問三　次の傍線部の助動詞の意味と活用形をそれぞれ答えなさい。

①　吹き着きぬ。　（　　・　　形）

②　感に堪へたり。　（　　・　　形）

問四　次の文を現代語訳しなさい。

①　空霽れたれば、　（　　）

②　浜は僅かなる海人の小家にて、　（　　）

③　感に堪へたり。　（　　）

問五　次の句からそれぞれ季語を抜き出しなさい。

①寂しさや須磨にかちたる浜の秋　（　　）

②波の間や小貝にまじる萩の塵　（　　）

種の浜

☆解答例と配点

問一　①　わび　②　さび　③　すま　④　はぎ　〈1点×4〉

問二　①　**ア**　②　**ウ**　③　**イ**　④　**ア**　⑤　**ウ**　〈2点×5〉

問三　①　完了・終止形　②　完了・終止形　〈2点×2〉

問四　①　空が晴れたので　②　浜には粗末な漁師の小さな家があり　③　非常に感動的であった　〈2点×3〉

問五　①　秋　②　萩　〈3点×2〉

（計30点）